脊椎動物

タヌキ

タヌキ　体長50～60cm

ハクビシンやアライグマに似るが、模様の無い、ふさふさの尾で区別できる。

ニホンノウサギ

オオタカ

ニホンノウサギ　体長45～54cm

草原や森林などに生息、夜行性。食物は植物の葉、芽、樹皮等。寿命は４年程。

オオタカ　全長50～56cm　留鳥

背面が青みを帯びた黒色。蒼鷹が名の由来。白い眉斑、黒い眼帯。小動物を捕る。

カワセミ

モズ

カワセミ　全長17cm留鳥

輝く緑色の翼とコバルト色の背、橙色の腹と黒色の長い嘴（雌の下嘴は赤色）が特徴。

モズ　全長20cm留鳥

尖った嘴で昆虫や小動物を捕まえる。小枝の先にカエルやバッタを刺す（モズのはやにえ）。

※全長とは、嘴の先から尾の先までの長さ。

ジョウビタキ

シジュウカラ

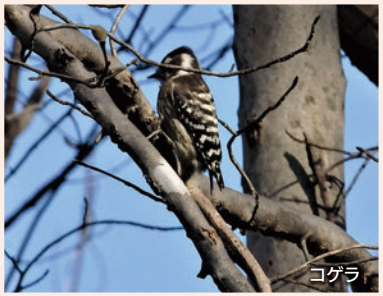
ジョウビタキ　全長14cm冬鳥

雄は灰白色の頭と黒い顔、橙色の腹。雌は頭部が淡褐色。雌雄ともに翼に白斑。

シジュウカラ　全長14.5cm留鳥

黒い頭と白い頬、喉から延びるネクタイ状の黒い縦線（雄は太い）が特徴。

カルガモ


コゲラ

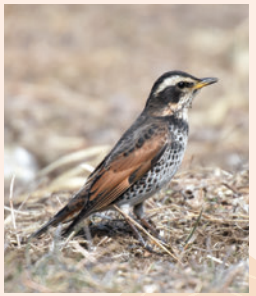
カルガモ　全長60cm留鳥

体は褐色で泳いでいるとき翼の先に白い帯が目立つ。嘴は黒で先端部は黄色。足は橙色。雌雄はよく似る。

コゲラ　全長15cm留鳥

国内のキツツキ類で最小。背と翼に黒と白のまだら模様。平地や低山に住む。

ヒヨドリ


ツグミ

アオサギ

ヒヨドリ　全長28cm留鳥（漂鳥）　ツグミ　全長24cm冬鳥　アオサギ　全長93cm留鳥

シロハラ　全長 25cm 冬鳥

アカゲラ　全長 24cm 留鳥

キジ

全長 81cm 留鳥

雄は顔の赤い肉冠、黒色で緑色の光沢のある胸と腹、長い尾羽、雌は黄褐色の体と長い尾羽。

ミナミメダカ（ニホンメダカ）

体長 30～40mm

「目高」の名は目が身体に比べて大きく、前方に飛び出していることによる。

鳥について

コラム

この公園には、50種類以上の小鳥たちが訪れます。
野鳥の「渡り区分」の種類は、夏鳥（春に南から日本に来て秋に帰る鳥）・冬鳥（秋に日本より北から来て春に帰る鳥）・留鳥（年中同じ地域に生息する鳥）・漂鳥（国内を季節移動する鳥）・旅鳥（春秋の移動の途中に日本に立ち寄る鳥）などです。
バードウォッチングの際に、双眼鏡を使うと楽しみがより膨らみます。野鳥を覚えるためには、鳴き声、姿かたち、色彩、行動などをよく観察し、図鑑で調べてください。